



ホストタウン事業 官民連携

ROSECAMP 2017 を実施しました



2017年6月14日～28日の2週間、ブルガリア新体操ナショナルチームが東京オリンピックへ向けた事前キャンプを行いました。スタッフ・選手26名が日本の気候、食、文化などに慣れ親しみ、最高の状態で東京大会にのぞみたいという趣旨で実施し、本番まで計4回、村山市でキャンプを行います。

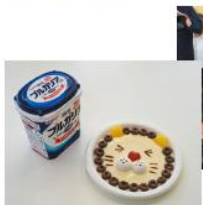
練習の合間には、日本文化の体験（浴衣着付け、茶道、華道等）、日本食の体験、旬のさくらんぼ狩りなどを行いました。その他、小中学校への訪問や公開演技会の開催などにより、地元市民との交流も実施しています。



合宿中の「食と栄養」を
ヨーグルトでサポート



中学校での
「ヨーグルト食育」



小学校での「ヨーグルトアート交流」

会場：村山市民体育館



2日間の公開演技に約3600名が来場

ブルガリアといえば「ヨーグルト」
ROSECAMPパートナー企業である株式会社明治は、ヨーグルトを通じて選手の食事や体調管理をサポートしました。

村山市と連携し、市民向けブルガリアセミナーや、食育セミナー、交流イベントなどを通じて、ホストタウン事業を盛り上げていきます。

官民連携でレガシーを

2017年12月1日、村山市と明治は、ブルガリア共和国を交流国として、事前キャンプ地の環境整備とレガシー形成のため、「ホストタウン事業に関する協定」を締結します。

今後相互に連携・協力し、ホストタウン事業を推進していきます。

東京オリンピック・パラリンピック ホストタウン事業に関する協定

連携
事業

ブルガリア新体操ナショナルチームの事前キャンプへの支援

村山市民の健康増進、食育活動の推進

ヨーグルトなど健康食品の普及活動の推進

文化的、人的、経済的分野での情報の相互提供、連携した取組みの推進

企業と行政の持つノウハウの相互提供

メディア、ホームページなどを活用した取組み事業の情報発信

その他、本協定の目的に合致する活動